

中村 純

広島大学

なぜ情報倫理？

クマ公：おーい、ご隠居さん、いるかい。

ご隠居：おや、クマ公。珍しいね、まあおあがり。

クマ公：いや、うちの長屋でも大家さんがネットワークを使えるようにしてくれてね。ネットは楽しいんだけど、すぐ騙されたりするらしいんで怖いって言うやつもいるし、無料の映画だと思って見てたら、著作権をどうしてくれるんだと大家さんが怒られたりしたらしくって、急にコンプライアンスだと叫びだしてね。で、お前が長屋のみんなに情報倫理教育をやれって言われちゃったんですよ。でも、大工の俺にそんなこと言われたって分からないんで、ご隠居に教えてもらおうとやってきたんですよ。

ご隠居：大家さんがコンプライアンスというのはちょっと違うと思うがな。まあ、その心配は分かるし、日本の大学なんかでもいろいろ困ったりしているらしいな。まあ、しっかり勉強しなさい。それじゃな。

クマ公：あっ、ダメですよ、どうしたらいいのかわちゃんと教えてくれなきゃ。だいたい、情報倫理と情報セキュリティと情報モラルっていうのがどう違うのかよく分からない。インターネットで悪いやつに引っかからないようにセキュリティの問題を説明して、関係した法律を説明すればそれでいいんじゃないかと思うんですが、何で倫理とか言わなきゃいけないんですか？

ご隠居：情報倫理は、応用倫理学の一分野だと捉え

るのがいい。

クマ公：えっ、倫理学なんてカビの生えた学問は、おれたち長屋の住人はもちろん、大学の理系の先生たちだって勉強したことのある人はあんまりいないから、そんなこと言ったら誰も教えられませんよ。

ご隠居：倫理学は何が正しいかを考えるものなので、誰でもが自分で考えているべき問題だ。医療にかかわる人は、生命倫理を学ぶべきだし、情報を扱う人は、情報倫理を身に付ける必要がある。

そして、現代ではすべての人が情報を扱うから、すべての人が情報倫理を学ぶ必要がある。それに、情報倫理はカビが生えてなんかいない。最近、正義の議論ははやっているが、倫理学は昔から考えを鍛える手段としてジレンマを使ってきた。上手に問題を設定すると学生たちは喜んで真剣に考えるぞ。

クマ公：ふーん、それじゃ、道徳と倫理はどう違うんですか？

ご隠居：道徳は正しいことの集合。倫理は、正しいかどうか判断するための理論。

クマ公：だけど、倫理学って、アリストテレスの昔からあるんでしょ。いまだに何が正しいか分からないんですか？ 学問の進歩ってものがないんですかね？

ご隠居：何が正しいかは時代によって変わってくる。それぞれの文明の持つ価値観によるからな。我々は、江戸時代に家のために切腹する武士の行動を理解することはできるが、いまそれが正しい行動とは思わない。

クマ公：文明だなんて大げさだなあ。それはおれたち長屋の住人はあずかり知らないことですよ。専門家に考えてもらいたいなあ。

ご隠居：もちろん情報に関連する職業についている人たちが理解し、受け入れるもの（綱領、コード）は作られている。情報処理学会の「情報処理学会倫理綱領」¹⁾、アメリカ計算機学会 (ACM) の「倫理および専門職綱領」²⁾ などだな。

クマ公：そこでの議論をまとめて、教科書に何が正しいか書いておいて普通の人はそれを勉強するってのじゃだめなんですか？

ご隠居：今はパソコン1つを持てば、膨大な情報がそこにあり、誰でもがその管理者としての責任がある。また、ブログに何か書けば、世界中の人に情報発信していることになる。音楽ファイルをコピーすれば、著作権を考えないといけない。

クマ公：なるほど、デジタル化されてるものは、コピーしたものとオリジナルが同じだから、模写してた昔とは違いますねえ。

ご隠居：西欧でもアジアでも、古代から現代まで多くの文明が栄枯盛衰を繰り返してきた。多くの文明は、時代が変化していくときに、それまでの価値観を変えることができず、社会は混乱し衰退した。1つの文明社会が健全に継続していくためには、その人間が、何が正しいか、正しくないか議論していないと社会が硬直してしまう。特に、今はコンピュータの普及とネットワークの発達が急速に社会を変えつつあるから、常識もどんどん変わっていく。音楽の著作権の考え方も10年後には大きく変わっているだろうな。

グーテンベルグ (Gutenberg) が15世紀半ばに作上げた活版印刷術やワット (Watt) が18世紀に作上げた実用的な蒸気機関はその後の世の中を大きく変えたわけだが、TCP/IPの開発はそれに匹敵する、あるいはそれ以上の変革を世の中にもたらしている。しかもその変化のスピードが速い。著作権も、10年後にはずいぶん変わっているんじゃないかな。

正しい行動は何なのだろうということを考えるトレーニングを皆がしていないといけない。それが情

報倫理。たとえば、著作権については、わしも著作権法を読んで勉強したつもりだったが、牧野圭一先生から「一コマ漫画に孤島ものというジャンルがあります。孤島に流れ着いた独りの男という状況は共通で、99パーセント過去のものと同じ。でも、付け加えたたった一言、たった1つのアイテムで読者をアッと言わせ、現代社会について考えさせるものがあります。このような作品は新規性がないと言って著作権を認めないのですか？」と言われて答えられなくて、著作権というものについて改めて考えたな。

クマ公：なるほど、正解はなくても、こういうのは議論して皆が考えておかないと、つまらない方向に社会が行っちゃいますね。

ご隠居：文献3)によれば、情報通信技術の発展により、我々は以下のような問題に直面しているそう。スピード、匿名性、コンテンツのデジタル化、世界的な広がり、強大な犯罪力・破壊力。

クマ公：なるほど、どれも爺さん、婆さんの時代にはなかったですね。昔はのんびりしたものでしたね。

ご隠居：それどころか、お前の子供の時代には、携帯で旅行の予約したり、ネットでビデオをダウンロードなんてなかったろう。そういう時代には何が変わるのか、長屋のみんなとよく話し合ってみなさい。

クマ公：そうですねえ。このあいだも作治郎のやつが、ツイッターで人の悪口を流し続けているから注意したら、1人でつぶやいているんだからほっておいてくれなんて言うんですよ。1人でつぶやいたってネットの上でたくさんの人が見て後に残るの、つい言ったーじゃすまなくなるよってどなったんですかね。

情報倫理ビデオ

クマ公：ご隠居さーん。だめだ、できませんよ。

ご隠居：おや、クマ公、また来たのか。どうした。

クマ公：長屋のみんなが集まって、議論をしながら情報倫理力を付けようじゃないかと始めたんですが



図-1 情報倫理ビデオクリップ：8. 掲示板での匿名性とマナー (パート2)「物語編」より

掲示板に匿名で不適切な書き込みをしつらばくれる学生(左)を、接続IPアドレスと接続時間から割り出す。



図-2 情報倫理ビデオクリップ：9. 公開鍵暗号は縁の下の力持ち (パート3)「解説編」より

PKIの仕組みやRSA暗号のアルゴリズムについて説明。10分を超える長いクリップになり賛否両論。

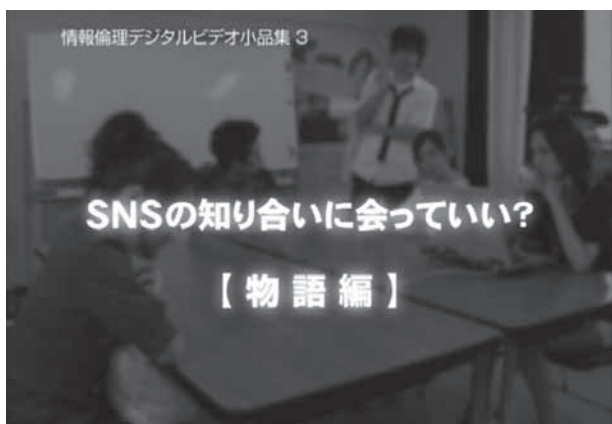


図-3 情報倫理ビデオクリップ：18.SNSの知り合いに会っていい? (パート3)「物語編」より

SNS上での人間関係について、登場人物たちが異なった意見を主張する。主人公の1人、里美部長がネット上で皆から信頼されている社会人と週末に会うと表明するところで終わる。このパートには解説編はない。

ね、何を取り上げたらいいのかよく分からないし、セキュリティの話も絡むと、そこらへんは知らないことも多いし。そもそも、集まって漠然と議論しようといったって、テレビで見たアメリカのサンダル先生だったか、長靴先生だったかみたいにうまくはできませんよ。

ご隠居：うん、まったくゼロの状態から議論を始めるのは少し大変かもしれんな。

クマ公：日本の大学の先生たちだって、情報倫理なんて教えるのは初めての人も多いはずで、どうやってるんだろうって話してたんですよ。そしたら、今度大学に入ったハチ公のところの金坊が、大学の生協で買ったパソコンに情報倫理ビデオっていうのが

付いてるよって言うんで、へえーって見せてもらった。若い人たちが出てきてドラマ仕立てになってるんですよ。後半が解説になってるんで、前半見て、ドラマの中の人たちと一緒にあったつもりでみんなで議論して、後半を見て勉強すればいいんじゃないかということになって、みんなで4,620円出し合っで注文したんでさあ^{☆1}。短いクリップが結構たくさんあるんで、知らないことや、興味があるところを選んで始めたんですよ(図-1,2,3)。ほら、たとえばパート3の内容はこんな感じですよ(表-1)。

長屋の連中は、パスワード覚えられないからって、子供の名前を使ったりするやつらがいるから、「安直なパスワードで重大事件！」あたりから教えてやらないといけないし、大学じゃきっと「Web貼りつけレポートはNG」なんかも大事なんじゃないですか？

ご隠居：9番の公開鍵暗号も、ネットでカード決済をしたりするんなら知ってなくちゃだめだぞ(図-2)。

クマ公：これなんか難しそうだけど、大学生たちの楽しそうなドラマだからつい見ちゃいますよね。為公なんか、ドラマの中の演劇部部長の里美さんがカワイイって大騒ぎですよ(図-3)。

ご隠居：そうか、いいじゃないか。

クマ公：ええ、そうやって楽しく盛り上がっていた

^{☆1} 大学や企業でサーバに載せて多数が視聴する場合はライセンス方式もある。1ライセンス525円(100ライセンスまで、それ以上は315円)。

オープニング		第3章 便利と信頼性		第5章 取引	
第1章 IDの管理		10	オンライン広告は信用できる？	20	オークション詐欺のからくり
1	パスワード忘れたらどうする？	11	フリーメールの返信が行方不明！	21	巧妙になったワンクリック詐欺
2	安直なパスワードで重大事件！	12	アップしたビデオが著作権侵害！	第6章 メールの使い方	
3	抗議殺到の原因はフィッシング！	13	クチコミ情報は信頼できる？	22	携帯と作法の違うパソコンメール
第2章 情報の管理		14	無線LANただ乗りのリスク	23	宛先ミスが引き起こした悲喜劇
4	個人情報紛失に備えるノウハウ	第4章 参加		24	重いファイルの添付ははた迷惑
5	悪質でやっかいな暴露ウイルス	15	SNSについた謎のコメント	25	文字化けメールになったわけ
6	パソコンに忍び込むスパイウェア	16	ネットゲームでネットホリック	第7章 情報発信	
7	情報を守るにはポリシーを持って	17	匿名掲示板の荒らしはスルー	26	喧嘩にならないオンライン議論
8	生体認証があれば完全・完璧？	18	SNSの知り合いに会っていい？	27	Web貼りつけレポートはNG
9	公開鍵暗号は縁の下力持ち	19	先輩に誘われたのはネズミ講？	28	レポートのズルはデンジャラス
				第8章 知的財産権	
				29	ブログでメール紹介したらダメ？
				30	Webカメラは肖像権を侵害？

表-1 情報倫理ビデオパート3 クリップ構成

んですがね、途中でハチ公のやつが、おい、ここを見てもうって言うんで見てみたら、これを作った人たちの「主査」っていうところにご隠居の名前があるじゃないですか！

ひどいなあ、そうならそうと教えてくださいよ。これって何なんですか？ 道楽？

ご隠居：違う！ これは、国立大学情報教育センター協議会とメディア教育開発センター（NIME）というところの共同事業として作られた。これまでに全部で3つ作られている。

パート1 2002年度 全8クリップ

パート2 2004年度 全20クリップ

パート3 2007年度 全30クリップ

北から南まで11人の先生で膨大な時間を費やして作られた。まあ、国立大学情報教育センター協議会もNIMEももうないがな^{☆2}。

クマ公：ため息つかないでくださいよ。結構いろいろな大学で使われているらしいって聞きましたが。

ご隠居：こんな感じだな^{☆3}。

●パート1…CD 364枚、ライセンス2万1,423ライセンス

●パート2…DVD 872枚、ライセンス1万9,074ライセンス、生協PCプレインストール4万5,722

^{☆2} 国立大学情報教育センター協議会は2011年3月に解散した。文部科学省所管の独立行政法人であったNIMEは2009年3月に廃止され、情報倫理ビデオの著作権などは放送大学に移管された。

^{☆3} 2010年9月18日現在。

台(2007年度)

●パート3…DVD 361枚、ライセンス1万3,102ライセンス、生協PCプレインストール5万4,083台(2008年度)、4万3,525台(2009年度)、4万4,507台(2010年度)

ライセンスは、情報教育センター協議会加盟校を始め、多くの国公立大学が購入してくれた。CD/DVDは大学だけでなく、高専、高校、中学でも購入してくれたところがある。実際に使った先生たちが、研究会などで報告してくれたおかげでさらに使われるようになったのだと思う。私の所属大学でも、ライセンスを購入して、ほかの教材と組み合わせたオンライン教材にしている。

クマ公：もうかりましたね。今年の長屋の盆踊り大会ではご祝儀よろしく。

ご隠居：我々には1円も入っていない。映画と同じで、出演者、カメラマン、台本を書いた我々など多くの人が絡むので、将来改変しようとしたりしても、誰か1人が反対すると動かなくなるということで、著作権^{☆4}は制作費を出したNIMEが持つことになった。

クマ公：つまり、売上げはNIMEに入ってるんですね。あれ、NIMEはなくなったから、放送大学にかな。

^{☆4} ここで言う著作権は著作財産権を指す。なお、著作者人格権は譲渡できないので、タスクフォース11人が持っている。

課題

□ 情報倫理ビデオは効果があるのか？

クマ公：このビデオを見ていれば、情報倫理の力は間違いなく付きますね！

ご隠居：そんなことは保証していない。ここで提供したのは教材であって、コースではない。学生たちの力が付くかどうかは、実際に教室で先生たちがどう授業を展開するかに依存すると思うな。特に、情報倫理の目的である情報化社会で何が正しいのかを議論する力が付くかどうかは、学生たちがいかに議論に主体的にかかわってくれるかが大事だ。こういう授業をどうやって作っていくか、いろいろな実践が報告されるようになってほしい。

クマ公：先生たちも大変ですね。だけど、やっぱり普通の生活でいい加減なやつは、インターネットの世界でもダメなんじゃないですかね。もし、そうなら、一生懸命ビデオを使って教育しても根性が良くなるってのは難しいんじゃないですか？

ご隠居：日常生活とインターネットの利用の間に、倫理的な行動について相関があるのかどうかは気になっている。愛媛大学の深田先生を中心に、いろいろな質問に答えてもらうなかで、この問題を測定している。まだ解析中だが、

- 情報倫理意識・情報倫理行動の双方が日常的倫理意識から強い影響を受けている
- 実用的な情報メディア経験が多いことは、インターネット上の他者迷惑行為への倫理意識と倫理的な行動を高めている
- 高等学校と大学での情報倫理教育を受けた経験が多い学生ほどインターネット上の他者迷惑行為をより良くないと感じ、他者迷惑行為を行わない

といった示唆に富む結果が出始めている。もっと調査する価値があるな。

クマ公：なるほど、教育の効果はありそうですね。だけど、倫理はその社会の価値観を反映するんですよ。だとすると、国によっても情報倫理意識は違うかもしれませんね。

ご隠居：これまで我々が複数の国^{☆5}で、インタビュー調査やアンケートを実施した結果ではその兆候が見えている。これはとても重要な問題だ。昔なら、まあ異なる価値観を持つ国があっても、接触するのはごく一部だけだったが、インターネットの世界では、そんな距離はなくなってしまう。

グローバルな世界を実現するためには、国際的な情報倫理教材をどの国の人も同意するような内容で作っていかないといけない。英語、韓国語、中国語、ドイツ語の字幕をいくつかのクリップについて作っていろいろな国で見てもらったが、結構理解してもらえる。それから、各国間で情報倫理について議論するスタートにもなる。ヨーロッパではEUのINSAFEという組織が教材開発や教育活動を行っているが、日本もアジアや欧米と協力しながら情報倫理教育が進められるようになるといいな。

□ パート4？

クマ公：いろいろやることがあって大変ですねえ。でも、最初にやってほしいのはパート4の制作です。だって、パート3が2007年度に作られてからもうだいぶ経ってるじゃないですか。情報コミュニケーション技術の発達によって我々の行動が影響を受けるから情報倫理というものが重要なんだと言っていましたよね。だったら、どんどん新しい利用法とその問題点が出てるんだから、情報倫理ビデオもそれに対応したものが出ないといけないんじゃないですか？ ツイッターだって入ってないじゃないですか。あっ、奥へ引っ込まないでくださいよ。

ご隠居：確かにその通りで、改訂版の必要性は痛感している。それに、東日本大震災で日本中が適切な情報伝達の重要性を思い知ったわけで、日本発の情報倫理教材はこの問題を正面から議論するものであるべきだ。これまでの情報倫理ビデオを制作してきた体制はなくなってしまったので、制作費の問題が大きな壁となっている。しかし、教材制作の新しい枠組みを作ろうという動きはある。

.....
^{☆5} 韓国、中国、米国、ドイツ、ハンガリー、スイス。

□ 情報倫理ビデオは、日本のコンテンツ制作の歴史に咲いたあだ花？

クマ公：なるほどねえ。外国で賞までもらったけど、日本でこういうコンテンツを制作するのにはそんなに簡単じゃないんですね。まあ、せめていつの日かそういうときが来たときにやろうと思う人たちに何か言い残すことはないですか？

ご隠居：言い残すって、私はまだ元気だが...

まあ、学んだことは多い。本当に良いものを作りたいんだったら、業者に丸投げして自分は監修の名を取るなんてのではだめ。実際、このプロジェクトでは、素案を作るだけでなく、最初の台本作り、撮影立ち会い、解説チェックをやってダメなところは修正してもらっている。撮影したもののダメ出しは、日程、予算に影響するからすごく大変。プロダクションの人とつかみ合い寸前にまでなる。でも、そこまでやると、お互いに信頼、尊敬もするようになる。それから、メンバはみな喜んで働いてくれたが、膨大な時間を使うわけで、それに対して報いることができないのが主査としてはとても辛い。大学人の

業績としては、コンテンツの制作より論文1本の方がはるかにいい。所属大学によってはそれなりに評価してくれるところもあるが、評価してくれない大学も多い。今後の大きな課題だ。

参考文献

- 1) 情報処理学会倫理綱領 (1996), <http://www.ipsj.or.jp/03somu/ipsjcode/ipsjcode.html>
- 2) ACM Code of Ethics and Professional Conduct (1992), <http://www.acm.org/about/code-of-ethics/>
- 3) Joseph M. Kizza : IT 社会の情報倫理, 日本経済評論社(2001).
(2011年6月28日受付)

中村 純(正会員) nakamura@an-pan.org

1979年早稲田大学理工学研究科修了。同助手等を経て現在広島大学教授。専門は情報と教育、計算科学、パンフルート指導。

謝辞 情報倫理ビデオ制作タスクフォースのメンバと一緒に情報倫理ビデオを作ってきた岡部成玄先生、布施泉先生、村田育也先生、山田恒夫先生、辰巳丈夫先生、上原哲太郎先生、中西通雄先生、深田昭三先生、多川孝央先生、山之上卓先生に感謝いたします。また最初に方針も立たず途方にふけていたときに越智貢先生に相談に乗っていただきスタートすることができました。著作権に関して困難に直面したときに岡部洋一先生、山口和紀先生には有益なアドバイスをいただいたきました。中西通雄先生、庄ゆかり氏には、草稿を丁寧に読んでいただき読みやすい原稿にするのを助けていただきました。